

4－（１）体育指導法講習会

担当 林 剛史

1 はじめに

県中学校体育研究会では、体育指導者の資質向上を図るために、例年体育実技講習会を開催してきた。昨年度からは今までの実技講習会ではなく、「体育指導法講習会」として実技だけではなく、講話も含め我々教師側の指導に対する意識の向上を図ることを目標とした。今年は阿蘇郡市の研究のテーマとも重ね、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を意識した内容とした。

2 講習会の概要

- (1) 期 日 平成30年7月26日（木）
- (2) 会 場 阿蘇中学校体育館（阿蘇市）
- (3) 講 師

- 指導者：山本 行文（やまもと ゆきふみ）氏 他指導者
医療法人 寿量会 熊本機能病院 介護老人保健施設 清雅苑
健康増進施設 熊本健康・体力づくりセンター 顧問
- 指導対象：熊本県中学校体育研究会会員（県下保健体育教師）
テーマ「私とスポーツ ～パラリンピックで得たもの～」
- 活動内容 車いすバスケット



3 受講者の感想

- 初めて車いすバスケットを体験し、自分の知識だけで生徒たちに語ることに自分が少しでも経験して話すことの意味の違いを改めて感じた。
- 山本さんにぜひとも自分の学校や地域でも教えていただきたいと思った。
- 指導者側のパラリンピックへの思いを聞き、授業でそのことをしっかりと伝える必要性を感じた。
- 講話と実技がありとても充実した研修会となった。
- 率直にとっても楽しい時間となった。きっと子どもたちも楽しみながら触れる経験になると思う。



4 おわりに

今回の研修では様々な方の協力で講師の派遣や講習会の実施ができた。それぞれの郡市で研究のテーマも違い、また関係している方々もそれぞれに違う現状があり、そのことを踏まえた研修会を行うことも良いと感じた。受講者からもとても多くの肯定的な意見をいただき、運営をする側としても充実した研修会となった。しかし、参加者が例年少ない状況にあり、もっと指導方法を勉強したい、意識を上げたいという思いを大切にしていきたいと感じた。